

ACP「人生会議」って、なあに？

認知症看護認定看護師

おおしろ ひろこ
大城 宏子

「ACP」という言葉を聞いたことがありますか？

アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning) の頭文字を取って「ACP」と言われます。訳すると「事前に自身のケアについて計画する」となりますが、最近では「人生会議」と言われるようになりました。ちなみにこの愛称は公募され、ある現役看護師さんの案が採用されました。私は、とても素敵で身近で分かりやすい解釈だと思います。



これは、ズバリ「人生の最終段階の医療・ケアについて事前に本人の意思を確認する」考え方です。

本人の生き方、考え、価値観を重視し、その人らしさ、尊厳を大切にすることが「ACP」の基本です。当たり前のことですが、ひとり一人大切にしたい価値や優先順位は異なります。

例えば、治療方針・療養の選択・決定、どこで誰とどのように生きていきたいか、など人生における大きな決断が迫られる際の意味決定なのです。

しかし、認知症になり意思を表明できなくなってしまった、病気や老衰が理由で本人の意向を確認できない、という事態も起こっています。そんなときは一体どうすればいいのでしょうか。

あなたならどうしてもらいたいですか？

「ACP」は「～会議」と言われるように、何人かの関係者が集まって、「あの人なら、こう望むのではないか」と話し合いが持たれます。本人の意向を汲み取り、適切に推定し尊重するのです。参加者は本人をよく理解している方なら友人や近所の人でも構いません。もちろん医学的根拠やガイドライン等を参考にして、本人にとっての最善とは何かを皆で話し合うのです。状況も刻々と変わりますので「その都度」「繰り返し」「話し合う」ことが重要とされます。



日頃から大切な人に「最期はやっぱり自宅で」「もし、食べられなくなったら・・・」「回復の見込みがないなら延命はしたくない」「とにかく痛みは取ってね」と自分の考えを伝えておくことも大切だと思います。人生を託された人達は、その選択が本当に正しかったのだろうかと思い、責任を少なからず抱えていく訳ですから、残された人への最後の思いやりなのかもしれません。

人生100年時代、自分らしい人生の幕引きについて一度考えてみてはいかがでしょうか。

＜健康診断の結果、「精密検査必要」と言われた方の受診予約（電話等）を受け付けています＞
待ち時間が少なく、スムーズに受診できます。特にお仕事をされている方、多忙な方はどうぞ地域医療連携室（下記）にご連絡ください。

電話 0765-22-1354（平日9:00～16:00）

FAX 0120-935-631

当院では24時間救急患者様の受け入れを行っております。症状を自覚した時は、我慢をせず、速やかな受診をお勧めします。

発熱等の症状のある方は、まずは電話で連絡をお願いします。

電話 0765-22-1280（病院代表）